

グローバルイノベーションに挑戦する  
クラスター創成事業（TIB CATAPULT）  
クラスター公募要項

（別紙）クラスターへの協定金支払いに係る評価方法及び KPI の説明

令和 6 年 6 月

東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室 イノベーション推進部

## 1 KPI 項目の設定

本事業による支援を受けて、スタートアップとの協働を推進する事業体（以下「クラスター」という。）は、応募時に 3 か年度の事業計画に係るアウトプットの KPI を設定します。

### (1) アウトプットについて

アウトプットの KPI として、採択期間終了時点で 20 件以上の協働事例の創出（アウトカム）を達成するために実施する取組及び数値目標を設定します。

応募時には、採択期間 3 か年度終了時点における最終目標を見据え、単年度ごとの KPI 指標を「KPI 設定説明書」により提案してください。

クラスターの応募にあたって、グローバル推進クラスターとしての応募意向の有無によって設定項目や協定金見積額が異なります。KPI 設定必須項目及び任意項目、KPI 連動額としての見積額の上限は下表のとおりです。

クラスターへの応募については、様式 2-1 を提出してください。

グローバル推進クラスターに応募する場合は、様式 2-2 を提出してください。なお、グローバル推進クラスターに選定されなかった場合に備えて、様式 2-2 とは異なる KPI 設定の内容で審査を受けたいときは、様式 2-1 をあわせて提出していただくことも可能です。

応募種別	必須	任意	KPI 連動額の上限
クラスター	#1～#5	#6	初年度：4,000 万円 2 年目以降：5,500 万円
グローバル推進クラスター（※）	#1～#5	#6	初年度：4,000 万円 2 年目以降：5,500 万円
	#7～#9	#10	初年度：3,500 万円 2 年目以降：5,750 万円

※ 2 年目以降の金額については、予算措置状況によって協定金上限額に変更が生じる可能性があります。

KPI 項目は下表のとおりです。記載例は「KPI 設定説明書」をご参照ください。

(下記ク：クラスター、G：グローバル推進クラスターを指します。

●：必須、○：いずれかまたは両方を選択、△：任意、×：不要となります。)

#	大項目	小項目	ク	G	3 ヶ年合計 の 下限値
1	スタートアップの掘起こし	—	●	●	20 社以上
2	大企業や大学等とスタートアップの面談数	—	●	●	30 件以上
3	情報発信・プロジェクトブランディング	自由設定	●	●	5 件以上
4	協働事例創出に向けた資金、技術・アセットの支援	経済的サポート (件数)	●	●	10 件以上
		経済的サポート (金額)	※	※	10,000 千円以上
		技術・アセット提供サポート	○	○	—
		その他 (自由設定)	○	○	—
5	クラスターの拡大 / クラスター間の相互連携	クラスターの拡大	●	●	3 件以上
		他のクラスターとの相互連携	●	●	2 件以上
		その他	△	△	—

6	その他（自由設定）	自由設定	△	△	—
7	海外支援機関（海外大学、海外アクセラレータ等）との連携	連携に向けた基本合意の成立（NDA の締結等）、及び実施計画の策定	×	●	1 件以上
		各年度における具体的な連携の取組	×	●	2 件以上
8	クラスターのグローバル化	海外プレイヤーの巻き込み	×	●	5 件以上
		海外への発信	×	●	3 回以上
9	グローバルなビジネス展開を見据えた場・機会の提供	グローバルなビジネス展開の機会提供	×	○	3 回以上
		グローバルなビジネス展開を促進するファシリティの提供	×	○	3 件以上
10	その他（自由設定）	自由設定	△	△	—

※留意事項参照

クラスターは協働創出への実現可能性のある効果的な事業遂行のため、KPI 指標を設定・提示する必要があります。KPI 指標は下記の留意事項を参照し、当該 KPI 項目・指標が最終ゴールである協働事例の創出にどのように寄与するかも併せて設定・記載をしてください。

## 設定にあたっての留意事項

<p><b>【全項目共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記載にあたり、行を追加いただくことは可能です。ただし、<u>予め指定されている KPI 項目の書き換えは不可</u>となります。</li> </ul> <p>※ 例 1：#3 情報発信・プロジェクトブランディングについて、2 つ以上の KPI 小項目の設定が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アウトプットの KPI 達成状況については、事務局が一律に定量的評価（アウトプット評価）を行います。「想定根拠資料」にはその際にクラスターから事務局にご提出いただく想定資料を記載してください。</li> </ul>
<p><b>【#1 スタートアップの掘起こし】</b></p> <p><b>【#2 大企業や大学等とスタートアップの面談数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「KPI 項目が協働にどのように寄与するか」の項目については記載の必要はありません。</li> </ul>
<p><b>【#3 情報発信・プロジェクトブランディング】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI 小項目は、クラスターが設定してください。</li> </ul>
<p><b>【#4 協働事例創出に向けた資金、技術・アセットの支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的サポート（件数）または、経済的サポート（金額）のいずれかを選択の上、設定してください。</li> <li>・ 経済的サポート（金額）を選択した場合、各年度の目標値は、本項目に係る KPI 連動額として設定した金額以上となるよう設定してください。</li> <li>・ 技術・アセット提供サポート及びその他（自由設定）については、いずれか 1 つまたは両方を選択してください。</li> </ul> <p><b>【支払いにあたっての留意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的サポート（件数）を選択した場合、KPI 設定件数の目標値を満たしていても、実際に資金提供された金額が、本項目に係る KPI 連動額として設定した金額を下回る場合は、支払われる協定金額は資金提供額を上限とします。</li> </ul> <p>例）KPI が目標値 3 件・本項目に係る KPI 連動額 1,000 万円と設定されており、実際の資金提供件数が 3 件（達成）、その資金提供額が 800 万円だった場合は、本項目にて支払われる協定金額は 800 万円となります。</p>
<p><b>【#7 海外支援機関（海外大学、海外アクセラレータ等）との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「連携に向けた基本合意の成立（NDA の締結等）、及び実施計画の策定」については、海外支援機関とのプログラム等の連携を行うための、基本合意の成立及び実施計画の策定を達成内容として想定しております。</li> </ul> <p>なお、事業開始前に基本合意等を提携していた場合でも、本事業における連携（プログラム等）を創出いただける場合は、カウントの可否を判断いたします。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「各年度における具体的な連携の取組」については、「連携に向けた基本合意の成立（NDA の締結等）、及び実施計画の策定」にて合意・計画がなされた海外支援機関とのプログラム等の連携をカウント対象とします。</li> </ul> <p>なお、同じ海外支援機関と連携プログラムが複数回実施された場合も、KPI 上、複数カウントとすることは可能です。</p> <p>例）海外支援機関 A と 1 年目に基本合意を締結及び実施計画を策定し、2 年目、及び 3 年目に連携プログラムをそれぞれ実施した場合、2 年目、3 年目に各 1 回ずつ件数がカウントされます。</p>
<p><b>【#9 グローバル交流機会の創出】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本項目は 2 項目のうちいずれか 1 つまたは両方を選択してください。KPI 大項目及び小項目の追加・変更はできません。</li> </ul>

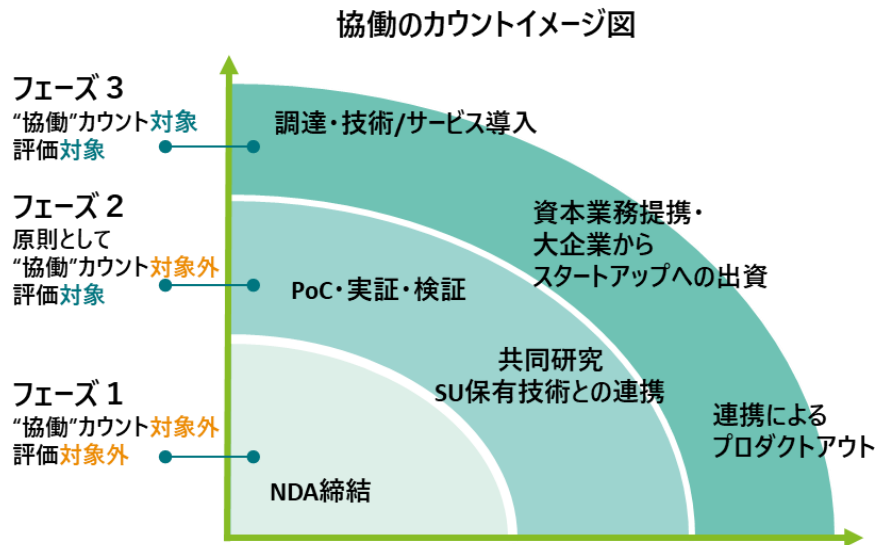
クラスターは、月次報告及び年度末の事業報告時に事業報告書とともに各 KPI 達成状況を客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を提出する必要があります。なお、事業報告書及び提出された根拠資料の内容に疑義が生じた場合には、内容に関するヒアリングの実施や、追加資料の提出を求める可能性があります。KPI 指標は、単年度ごとに見直し・再設定することができます（下方修正は原則不可）。

未達成の場合や根拠資料に不備がある場合は、理由書をご提出いただきます。提出いただいた理由書等を基に、目標値に未達となった背景・要因等を評価委員会で検討し、最終的な評価額を決定いたします。

## (2) アウトカムについて

クラスターは 3 か年で 20 件以上のスタートアップとの協働事例を創出してください。本事業における協働とは、スタートアップの成長や事業拡大、グローバルクラスターの創出に寄与するスタートアップとの連携事例（以下、「フェーズ 3」という。位置づけは 6 ページの図を参照）を指し、主に以下のような活動を想定しています。

- ① 調達・技術/サービスの導入
- ② 資本業務提携・大企業からスタートアップへの出資
- ③ 連携によるプロダクトアウト



PoC・実証・検証や、共同研究・SU 保有技術など、フェーズ 2 の連携については、原則として協働のカウントの対象外となりますが、成果評価において、規模や難易度・事業へのインパクト等を考慮し、協働件数としてカウントされる場合があります。

なお、20 件のうち、同一のプレーヤー（大企業や大学、またはスタートアップ）による協働のカウント対象は最大 5 件までとし、同一の企業が、複数の他企業との協働を実現することで、成果創出の範囲やインパクトが特定の範囲にとどまることを防ぎます。

## 2 協定金額の支払い

### (1) 協定金の決定について

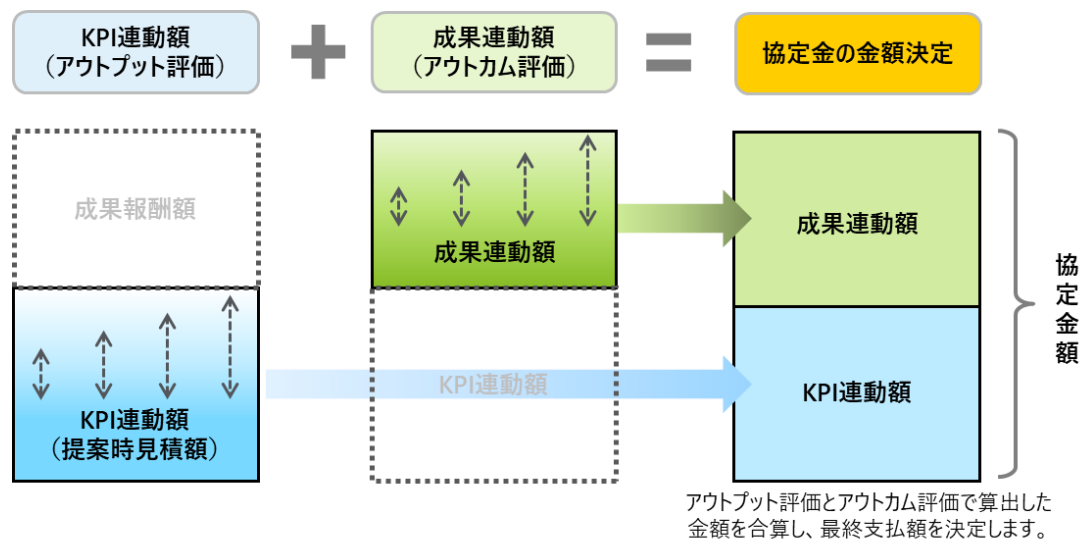
協定金の支払いにあたり、東京都（以下「都」という。）は、KPI の達成状況から算出される「KPI 連動額」、及び事業全体の成果について定量面・定性面の 2 つの観点から評価を実施し算出される「成果連動額」によって協定金の額を決定します。支払いにあたっては、毎年度末、外部有識者を含む KPI 評価委員会により、達成度合い等の事業の成果を総合的に評価します。

アウトプットの KPI については事務局が一律に定量的評価（アウトプット評価）を行います。これらの数値目標を満たさない場合は、「KPI 連動額」から達成率に応じ、減額された支払い額になる場合があります。

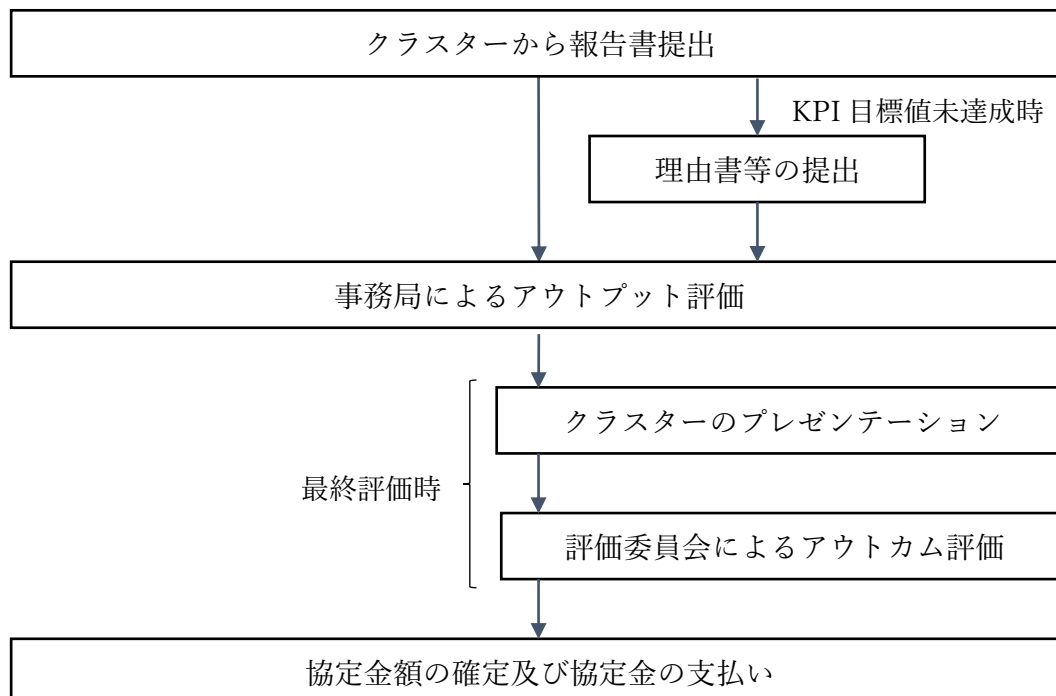
次に、KPI 評価委員会が定量・定性の両面から評価（アウトカム評価）を行い、本事業趣旨の実現を促進・加速させるような効果を創出したと判断された場合は、上記の「KPI 連動額」に加え、「成果連動額」が追加され、初年度最大 8,000 万円、次年度以降最大 1 億 1,000 万円（予定）が支払われます。（グローバル推進クラスターに選定さ

れた場合は初年度最大 1 億 5,000 万円、次年度以降最大 2 億 2,500 万円（予定）が支払われます）

上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージは以下のとおりです。



#### 【達成状況の確認方法】





### 3 アウトカム評価について

アウトカム評価時には、創出された協働事例の件数を評価する定量評価と、KPI 評価委員会が協働事例の個別評価、及びクラスターの活動全体に対しての総合評価からなる定性評価を実施します。これらの評価委員が評価した結果に基づいて、成果報酬額が決定します。

下記に掲げる観点は、本事業の目的を考慮して設定されています。

【定量的な評価の観点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェーズ 3 の件数：実際に何件の協働事例を創出したか</li> <li>・ フェーズ 2 の件数：協働事例の創出につながる取組を何件実施したか</li> </ul>
【協働事例の個別評価における主な評価の観点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成長性：SU の成長性 等</li> <li>② 持続性：サービスの持続可能性 等</li> <li>③ 普及：サービスの横展開の可能性 等</li> </ul>
【クラスターの総合評価における主な評価の観点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会へのインパクト：経済成長や都市課題解決への貢献、TIB 連携 等</li> <li>② クラスターの発展性：国内外からの多様なプレーヤーの誘因 等</li> <li>③ 協働実績の波及効果：経済波及効果、話題性・認知度 等</li> <li>④ SU への貢献：SU の売上額や評価額向上への寄与 等</li> </ul>

#### <成果連動額算出方法>

成果連動額の算出にあたっては、共同研究の定量的な評価、協働の個別評価、及びクラスターの総合的な評価を KPI 評価委員会にて実施したのち、最終的なアウトカム評価（9 段階を想定）にて決定いたします。

